

お困りの人は
申し込みを

弘前霊園内に合葬墓が完成しました

多くの人の焼骨を一緒に埋蔵する施設として、弘前霊園（小沢字井沢）内に合葬墓（がっそうぼ）を整備しました。施設の概要や使用の条件などについてお知らせします。

▽市の合葬墓とは 従来の区画された墓とは異なり、複数の人の焼骨を一緒に埋蔵する墓です。そのため、埋蔵した焼骨は後で返還する事はできません。

また、合葬墓は市で管理するため、宗教法人が管理する墓のように宗教行事は実施しません。

▽使用できる人

◎現に焼骨を保有している場合

申請時点で弘前霊園の使用許可を受けておらず、次のいずれかに該当する市民。

①埋蔵すべき焼骨を所持している人

②弘前霊園以外の墓地から改葬する人

または、死亡時に市民または死亡前に市民であった期間のある人の焼骨を埋蔵しようとする市外居住の親族等で、弘前霊園の使用許可を受けていない人。

焼骨の埋蔵については、8月1日以降申請可能です。詳しくはお問い合わせください。

◎生前申し込みの場合

申請時点において1年以上当市に住民登録があり、満65歳以上であることに加え、死後に自己の焼骨を

埋蔵する人の指定ができる人。

※生前予約については、当面の間は募集を行いません。今後、募集する数や時期を決定し、あらためて広報ひろさき等でお知らせする予定です。

▽使用料 1体あたり6万円

※使用料以外に必要な費用はありません。

※納入後は申し込みを取り消しても還付できません。

▽埋蔵できる期間 毎年3月16日から12月15日まで（弘前霊園冬期閉鎖のため）

▽埋蔵の方法 埋蔵は、親族・関係者の手により行ってもらいます（市や霊園管理者は埋蔵しません）。

■問い合わせ先・申し込み先 環境管理課分室（市役所3階、☎40・7035）



みんなでえがく みんなではなす ひろさきの未来 ～将来都市像策定のための市民会議～

市では新総合計画を今春に策定予定でしたが、今年度も策定作業を継続し、来年度からの運用開始を目指すことになりました。

そこで、来年度からの新しい総合計画に掲げる「弘前市の目指すべき将来の都市像」を市民の皆さんと一緒に検討する市民会議を開催します。

これまで行ってきた意見交換会などで出された市民の皆さんの意見なども参考にしながら、これからどんなまちづくりを進めていくのか、弘前の将来の姿を一緒に考えてみませんか。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

▽とき 8月25日、9月29日、10月20日（全3回）

※時間はいずれも午後1時30分～4時。一部の回だけの参加も可。

▽ところ 市役所食堂（市役所4階）

▽進行役 土井良浩さん（弘前大学大学院地域社会研究科准教授）

▽対象 市民または市内に通勤・通学する人

▽申し込み方法 電話かファクスまたはEメール（住所・氏名・職業〈学校名〉・年齢・電話番号・Eメールアドレスを記入）で申し込みを。

■問い合わせ先・申し込み先 ひろさき未来戦略研究センター（☎40・7021、ファクス35・7956、Eメール hif@city.hirosaki.lg.jp）



フォトコロ ひろさき

市内各地で行われた
イベントやまちの話題を
お届けします★

プロ野球 楽天 VS. ソフトバンク 一軍公式戦



フレッシュオールスターゲーム 2018



はるか夢球場（豊田2丁目）で、7月3日に「楽天イーグルス VS. 福岡ソフトバンクホークス一軍公式戦」、7月12日にスター選手への登竜門と言われる「フレッシュオールスターゲーム」が開催されました。両試合とも多くのファンがつめ掛け、観客席から絶え間なく声援が上がっていました。

第19回 よさこい津軽



士手町周辺で6月24日、社会人・学生・児童など23チームが、よさこい演舞を力強く披露しました。各チームの独創的な踊りや衣装で、会場は華やかに活気づいていました。

SHIROFES.2018 - 城フェス -



ダンスバトル・パフォーマンス・音楽など、多彩なコンテンツが7月1日、弘前城本丸で繰り広げられました。国内外から集まった多くの出演者や観客が、白熱したステージを楽しみました。

第32回 市民の健康まつり



クイズラリーや各種測定・体験などを通じて健康を考えるイベントが7月8日にヒロコ（駅前町）で開催され、参加者は楽しみながら健康への意識を高めていました。

星まつり in そうま 2018



星と森のロマンピア（水木在家字桜井）で、7月15日に開催。輝く陽気の下、よさこいやストリートダンスなどの迫力あるステージイベントで、会場は大いに盛り上がっていました。